青空文庫（7）「注文の多い料理店」（24）宮沢賢治

月　　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

そしてそのわきに鏡がかかって、その下には長い柄のついたブラシが置いてあったのです。

　扉には赤い字で、

「お客さまがた、ここで髪をきちんとして、それからはきものの泥を落してください。」

と書いてありました。

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.